

随意契約理由書

件名	神戸港沖鯨体運搬揚陸工事		
契約の相手方	株式会社共栄土木		
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第5号に該当		
随意契約の理由			
<p>2024年10月30日(水)に鯨の死骸が神戸沖合に漂着し、各局の協議の結果、神戸港内の船舶の交通への影響が比較的少ない神戸港第7防波堤付近へ一時係留していた。しかし、台風21号の接近に伴い、11月1日～2日にかけて悪天候が予想され、一時の係留場所から鯨が流れされていくことが懸念されることから、再漂流した鯨と船舶との衝突等による海上事故を防ぎ、安全に鯨を保管しておくため、緊急的に速やかに安全な場所に陸揚げし、仮置きする必要性が生じた。</p> <p>緊急に速やかに海上作業をするためには神戸港の状況について十分熟知し、なおかつ対象となる鯨体(長さ14m、重さ推定30t)のえい航及び陸揚げ作業に必要な資機材・人員を早急に準備することが本工事の履行において必要不可欠である。</p> <p>このため、神戸港内の港湾工事の履行実績が豊富で必要な船舶・人員の準備が即座に可能である上記業者を選定した。</p>			
担当部署	港湾局工務課工務係 (電話番号 595-6313)		